

令和7年度 小ヶ倉中学校学力向上プラン

《学校教育目標》 心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成

《成果指標》	令和8年度	3年生	全国学力調査：国語	長崎県平均 + 2 点以上 (R 6 県平均 + 1.9)
			数学	長崎県平均以上 (R 6 県平均 - 5.2)
	令和8年度	2年生	県学力調査：国語	長崎県平均 + 3 点以上 (R 6 全国平均 + 2.5)
			数学	長崎県平均 + 7 点以上 (R 6 全国平均 + 6.8)

【家庭・地域との連携】

〈取組〉

- ホームページ等を活用した開かれた学校づくり
(校内研修の様子等の公開)

〈成果(指標)〉

- ◆ 学校は、ホームページやテトル等でよく情報を発信している(保護者の肯定的評価：95%以上)

【授業づくり】

〔基礎・基本の習得〕

〈取組〉

- 基礎・基本の確実な習得を図るために、1 単位時間の授業のねらいを明確化し、まとめの場を重視した学習活動を展開する。【③】
- 生徒の「わかる・できる」を実現するために、各教科の特性に応じて工夫した学習活動を展開する。【①②③】

〈成果(指標)〉

- ◆ わかりやすく、ためになる授業づくりに努めている。(肯定的評価：90%以上)

〔思考力・判断力・表現力の育成〕

〈取組〉

- 授業の目標を教師と生徒で共有し、学習意欲を高めるために、ルーブリックを活用した学習活動を設定する。【①②⑤】

〈成果(指標)〉

- ◆ 学力調査の思考力・判断力・表現力の観点別正答率が県平均以上
- ◆ 学力調査の無回答率が平均レベル

【教員の意識・指導力の向上】

〈取組〉

- 学力向上に関わる校内研修の実施

〈成果(指標)〉

- ◆ わかりやすく、ためになる授業づくりに努めている(教職員の肯定的評価：95%以上)

【学力基盤づくり】

〈取組〉

- フォーサイトアプリを活用したセルフマネジメントの場の設定【④⑤】
- 図書館教育の充実【⑥】

〈成果(指標)〉

- ◆ 自分に必要な学習を自覚し、粘り強く、計画的に取り組んでいる(肯定的評価：85%以上)
- ◆ 学校の授業以外で2時間以上学習している(肯定的評価：70%以上)
- ◆ 私は、読書に親しんでいる。(肯定的評価：70%以上)

【全国学力・学習状況調査、県学力調査から見た本校の実態】

国語 数学 外国語	① 記述形式の問題は、正答率の高低に限らず、無回答率が高い傾向にある。 ② 「思考力・判断力・表現力」は、特定の教科に限らず、論理的な説明をすることに課題がある。 ③ 数学科は概念的理解に、外国語科は基本的な文法理解に課題があり、基礎・基本の定着が十分とはいえない。
質問紙調査等	④ 平日、授業以外の時間で2時間以上勉強を行う生徒が多いとはいえず、家庭学習の習慣が十分に身に付いていない。 ⑤ 生徒の学習活動に対する教師のフィードバックが十分ではない。 ⑥ 読書に親しむ生徒の割合が全国平均以下である。

※ 本校の実態の①～⑥が各取組の【番号】と関連づいている。